

【NPO法人 横浜ペダルプロジェクトさま】

横浜の街を自転車で走るイベント「横浜エコライド2009」が11月1日に開催されました。昨年に引き続き、参加費の一部を「グリーン電力基金」に寄付いただきました。このイベントを主催されたNPO法人 横浜ペダルプロジェクトの鳥羽山康一郎理事長に、お話を伺いました。

(聞き手：事務局 枝 優子)



——今年も多大な寄付をいただき、ありがとうございました。今年は何名くらいの方が参加されたのですか？

「ひとりあたり500円をグリーン電力基金に寄付する」ということを受け付ける時に伝え、560名の方に参加いただきました。昨年は280名程度でしたから、倍の方が参加されたことになりますね。

(倍増とはすばらしいですね！)

——今回はどのくらいの距離を走ったのですか？

快晴のもと、約22kmを走りました。

みなとみらいを出発し、赤レンガ倉庫、大さん橋、港の見える丘公園、根岸森林公園、本牧通り、元町、マリントワーを通り、再びみなとみらいを經由し、横浜中央市場を通り、みなとみらいへ戻ってくるというコースでした。去年(20km弱)より少し長くなりました。

(コースもさらに充実ですね。)

——イベントの趣旨について、改めてお聞かせください。

はい。私たちは自転車の活用を通じて横浜の自然や、都市環境保全のために活動することを目的にしています。自転車が環境に優しいエコな乗り物だということをもっと多くの方に知っていただく具体的な行動として示すため、本イベントを「エコライド」と名付けました。昨年、グリーン電力基金のことを知り、私たちの活動の趣旨にぴったりだと思いました。

(ありがとうございます。)



鳥羽山さん(左)とガーナから参加した義足のトライアスリート、エマニュエルさん(右)

——昨年に引き続き、俳優の鶴見辰吾さんも参加されていらっしゃいましたね。



そうなんです。大会名誉委員長として協力していただきました。鶴見さんも「自転車で世の中の役に立つことはできないだろうか」と考えられ、二代目自転車名人でもいらっしゃいます。エコライドには強い味方です。

自転車名人とは、NPO法人 自転車活用推進研究会により自転車を安心、安全に有効活用し、日常生活の文化として推進している人に授与されるものです。初代名人は故忌野清志郎さんなんですよ。

(清志郎さんは今年惜しくも亡くなりましたが、鶴見さんがしっかりと引き継いでいらっしゃるのですね。)

——ありがとうございました。

これからも、安全にお気をつけて、ますますご活躍されますように。

《NPO法人 横浜ペダルプロジェクト》

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通り4丁目24番

<http://www.yokohama-pedal.org/>